



# 私たちの ターニングポイント

～佐賀県の『高校生＋大学生＋社会人』による海外派遣プログラム帰国報告会～  
（佐賀県海外使節団）＋（内閣府青年国際交流事業）

佐賀県青年国際交流機構

平成 23 年度 IYEO チャレンジ・ファンド助成事業

2011年8月14日（日）佐賀市アバンセにおいて「私たちのターニングポイント～佐賀県の『高校生＋大学生＋社会人』による海外派遣プログラム帰国報告会を開催しました。報告を聞き、「こんな頼もしい若者が佐賀に居た！」「地域で若者を育てよう！」等の声が多方面から聞こえ、佐賀の若者が、会場の多くの人に勇気と希望を与えてくれました。発表者の家族や友人、学校関係者、元使節団担当者、県などを含む約90名の方が参加、イベントの企画運営は、IYEO 会員、一般ボランティアや発表者を含む実行委員17名で実行しました。

### 【発表者】

社会人の部 2名（内閣府青年国際交流事業：佐賀県 IYEO）：  
蓮池可奈子さん（社会福祉法人 知恩福祉会 海童保育園 勤務：  
青年社会活動リーダー育成プログラム 2009 ドイツ派遣団）、武富  
波路さん（KTC 中央高等学院 熊本キャンパス 勤務：日本・中国青  
年親善交流事業 2009、2010 渉外担当）

大学生の部 3名（佐賀県海外使節団）：徳島大作さん（佐賀大  
学 経済学部）、西島俊太郎さん（豪州・マコーリー大学）、山下雄  
登さん（横浜国立大学 経済学部）

高校生の部 4名（佐賀県海外使節団）：古川夏月さん（武雄高  
校）、牟田優花さん（致遠館高校）、中村 暖さん（佐賀北高校）、  
吉村哲哉さん（現・西九州大学）



### 【県とのタイアップ】

当初のねらいである、「私たち内閣府青年国際交流事業既参加青年と、佐賀県海外使節団参加者（高校生／大学生）が協働し、県民・国民へ向けた『合同報告会』を実施することにより、青少年国際交流活動の意義、公的事業で行う海外派遣事業による人材育成事業の意義を伝える機会としました。

内閣府青年国際交流事業の周知及び意識の高い若者の受験へつなげ、事後活動を活性化することを目的とする。」という目的を達成するにあたり、まず、県担当課とのやり取りに工夫が必要でした。佐賀県海外使節団は IYEO が通常連絡を取り合っている内閣府事業担当課とは別の管轄事業だったため、企画の価値を伝えるために多くの時間を要しました。結果的に件事業担当課には、この対安比の目的が、「人づくり」と「公的な海外派遣事業の意義を広く伝えること」を理解いただき、後援や広報についてご尽力いただくことができました。

### 【将来の受験者拡大へ向けて】

この機会に、佐賀県内の全高等学校・大学へ、県の配付棚を活用し報告会チラシを全校へ配布しました。同時に、「東南アジア青年の船」事業のホストファミリー募集チラシも配布しました。報告会では、発表者の友人高校生・大学生の姿も多く、若い世代の将来の選択肢の一つとして内閣府事業の存在を PR できました。社会人の部の報告を聞いた感想からは、素晴らしい事業であるが故に『社会人が事業に参加しやすい社会のシステムづくり』が課題だと挙げられています。



## 【実行委員会・佐賀 IYEO の活性化】

「東南アジア青年の船」事業地方プログラムの受入れを10月末に控えている佐賀県 IYEO メンバーにとって、事後活動への参画意識を高めることへ繋がりました。ほぼ同時期から2つの事業の準備を始めたことで、仕事が増え、マンパワーが不足するのではないかと不安を感じていましたが、次第に会員の意識の中に、協力・役割分担し事業を行う意識が高まったようです。また、ありがたいことに、二つの事業に興味を抱いてくれる一般ボランティア（内閣府青年国際交流事業受験希望者）が複数参加してくれたことで、会員自身も事後活動への取組へ向け、意識啓発される部分もありました。

## 【IYEO 自主活動サポート助成金制度（チャレンジ・ファンド）採択を受けて】

チャレンジ・ファンドの助成金を受け、ターニングポイント報告会を開催することができ、多くの県民に、当初の「ねらい」そして「佐賀県 IYEO」という名前を知っていただくことができました。経済的な支援があることで、会計面の負担も軽減され、魅力的なチラシを作成でき、イベントへの注目や IYEO の知名度が上げることができました。また、佐賀県 IYEO 全会員へ、日頃の活動を含めたイベント周知（郵送）ができたことはありがたかったです。

前述のように、今回の報告会だけに留まらず、「東南アジア青年の船」事業の受入れへのモチベーションへ繋がったこと、将来の内閣府青年国際交流事業受験者にとって、ボランティア活動の機会となれたこと、若い世代のネットワークが IYEO の組織や、高校・大学・社会人という枠を超え広がったことが大きな成果になりました。

主催/佐賀県青年国際交流機構(佐賀県IYEO)  
協賛/佐賀新聞社

# 私たちのターニングポイント Our Turning Point

佐賀県の「高校生+大学生+社会人」による海外派遣プログラム帰国報告会  
(佐賀県海外使節団) + (内閣府青年国際交流事業)

社会人の部(佐賀県IYEOより)  
海外体験を生き方に繋げる、  
社会人の決意

大学生の部(佐賀県海外使節団)  
アメリカ・シリコンバレーで  
起業家精神を学んだ14日間

高校生の部(佐賀県海外使節団)  
高校生ぐるっと世界一周の30日間

佐賀から世界へ!  
佐賀の若者が  
16ヶ国と繋がった!  
さあ、その体験を  
のぞいてみよう。

日時 平成23年8月14日(日) 14時開始 16時終了 会場 アバンセ 第3研修室  
(佐賀市天神3丁目2-11)

連絡先/佐賀県青年国際交流機構(佐賀県IYEO) 電話/080-4140-1803(中村)  
e-mail: sagaiy eo@gmail.com http://s giy eo.saga fan.jp/  
Saga International Youth Exchange Organization